

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-114	高等学校	公民科	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	公共 701	公共		

1. 編修の基本方針

(1) 高校生が主体的に現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を展開できる教科書

- ・第1部と第2部のそれぞれ冒頭に「学習の進め方」を見開きで提示し、各部の内容と紙面構成を丁寧に説明した。
- ・各項(「本文ページ」)は、冒頭に学習課題を提示することで問題意識をもって学習を進められるようにし、項末には1単位時間の学習のまとめ「トライ」で「まとめる」「説明する」などの活動を提示した。
- ・第1部『「公共』のとびら』では、第2部・第3部の学習で活用できるよう、現代の諸課題を考察し、選択・判断する際に活用可能な(視点)(概念や考え方)を多く載せ、第1部の「まとめ」のページで一覧表にして提示した。
- ・第2部は13のテーマで構成し、それぞれの冒頭に見開きで「追究しよう」を設けた。「追究しよう」では、各テーマに関する具体的な追究課題を設定し、紙面は「つかむ」→「考える」→「まとめる」という学習のプロセス(「探究学習のプロセス」)にそって構成した。
- ・「本文ページ」以外に「特設ページ」を豊富に設け、興味をもった内容について生徒が主体的に学習を深めたり広げたりすることができるようにした。基本的な知識理解事項をまとめた「ゼミナール」、発展的な興味深いトピックを紹介した「アプローチ」、倫理的な観点から物事を選択・判断する際の基本的な考え方について生命倫理と環境倫理に関する具体的な課題をとおして学習する「活用」など、多様な特設ページを掲載した。
- ・第3部は、第1部・第2部の学習をふまえ、現代の諸課題を探究する活動ができるよう、「つかむ」→「考える」→「まとめる」→「ふり返る」という探究プロセスにそって解説した。

(2) 公民の技能をみがき、資料を活用して考察する力を培う教科書

- ・本文に関連した資料(図表やグラフなど)を豊富に掲載した。本文中の関連する箇所には見開き単位で図番号を付し、資料を活用しながら本文を読み進めることができるようにした。
- ・本文ページの図版に、資料を読み取る際のポイントを適宜^[?] で示し、考察の手がかりとなるようにした。
- ・教室の内外でできる学習活動の例を「アクティブ公民」として適所に掲載した。また第1部では、思考実験(「トロッコ問題」「臓器くじ」)を取り上げ、概念的な枠組みを用いて考察する活動ができるようにした。
- ・「共有地の悲劇」「囚人のジレンマ」など、学習内容を深めたり、掘り下げて考えたりするためのトピックを「コラム」として掲載した。
- ・第3部「持続可能な社会づくりに参画するために」では、「資料を批判的に読む」ことや「表やグラフの読み方」を提示し、探究活動を進める際に資料を効果的に活用できるようにした。

(3) 現代の諸課題とつなげる教科書

- ・第2部の「追究しよう」では、「民意を反映した政治を実現するには?」、「これからの時代の職業選択をどのように考えればよいだろうか?」、「経済のグローバル化は現代社会にどのような影響をもたらしたか?」など、現実社会におけるさまざまな課題を取り上げた。
- ・「本文ページ」の導入では、「ダイナミックプライシングとは何か?」、「『ブラックバイト』にどう対抗すればよいか?」など、話題になっている事例や、高校生にとって身近な事例を取り上げた。
- ・「公共」の学習が社会への参画につながることを意識できるよう、「若者議会で報告する高校生」や「(国政選挙で)投票する高校生」など、高校生が活動している場面を積極的に取り上げた。
- ・参加型の活動をとおして各テーマにかかわる実践に取り組むことができる「フォーカス&アクション」では、「模擬請願」「模擬選挙」「模擬立法」「刑事模擬裁判」を掲載した。
- ・第3部では、「探究課題の例」や「課題設定と説明・論述の例」でさまざまな現代の諸課題を提示し、自分自身の探究課題を決める際に活用できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1部 「公共」のとびら	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。(第1号) ・青年期の特徴やキャリア開発について丁寧に扱い、個人の価値を尊重しながらその能力を伸ばし、職業および生活との関連と勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した。(第2号) ・自分たちの考えと伝統・文化とのかかわりや、日本の伝統思想を学ぶことを通して、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮した。(第5号) ・功利主義と義務論を参考に生命倫理と環境倫理について考える「活用」ページを設け、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第4号) ・学習しておくべき知識理解事項を特設ページの「ゼミナール」(「人間としての在り方生き方の探求」「近代政治の原理と民主主義」「日本国憲法の基本原理」)で取り上げ、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した。(第1号) ・人権の歴史的展開や人権保障の世界的な広がりについて取り上げるとともに、特設ページの「アプローチ」(「男女共同参画社会の実現に向けて」)を設け、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) 	全体 10～13ページ 18～19, 34～35ページ 26～29ページ 30～35, 39, 46～51ページ 44～45, 52～53ページ
第2部第1章 民主政治と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。(第1号) ・「テーマ」の冒頭に「探究学習のプロセス」にそって構成した「追究しよう」を見開きで提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。(第1号・第2号) ・地域の将来について提案する高校生、国政選挙で投票する高校生など、同世代の若者の姿を積極的に取り上げ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号) ・日本の地方自治について扱うなかで、地域における住民の政治参加について取り上げたり、「模擬請願」の教材で「地域の課題」について考えることができるようにしたりするなど、郷土を愛し、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるようにした。(第5号) ・日本の政治機構について丁寧に取り上げたり、「模擬選挙」の教材をとおして政治参加の実践的な力が身につくことができるようにしたりするなど、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) 	全体 58～59ページ 60～62, 64～65, 74ページ 62～67ページ 68～71, 80～83ページ

<p>第2部第2章 法の働きと私たち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。(第1号) ・三つの「テーマ」の冒頭に「探究学習のプロセス」にそって構成した「追究しよう」を見開きで提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。(第1号・第2号) ・消費生活に関する情報の評価と選択を主体的に行う消費者市民社会の形成が求められていることを取り上げ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号) ・消費者が、環境に配慮しながら消費行動を行うことが求められるエシカル消費を取り上げ、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした。(第4号) ・裁判員制度や検察審査会制度など、市民が司法に参加するための制度や方法を取り上げることで、司法をとおして、正義と責任を重んじながら、主体的に社会の形成に参画し、公共の精神に基づき、社会の発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号) 	<p>全体</p> <p>84～85, 92～93, 102～103ページ</p> <p>99ページ</p> <p>99ページ</p> <p>107～111ページ</p>
<p>第2部第3章 経済社会で生きる私たち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。(第1号) ・三つの「テーマ」の冒頭に「探究学習のプロセス」にそって構成した「追究しよう」を見開きで提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。(第1号・第2号) ・自然環境は人々が人間らしく生きるために欠かせない「社会的共通資本」であることをコラムで取り上げ、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにした。(第4号) ・教科書本文、コラム、ゼミナールで「需要曲線と供給曲線」を取り上げるなど、経済分野で必須の知識が確実に定着するよう工夫し、幅広い知識と教養を身につけることができるようにした。(第1号) ・「アクティブ公民」で、財政と社会保障の課題に関して「消費税の引き上げの是非」や「公平な給付と負担の割合」について考えることをとおして、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) 	<p>全体</p> <p>112～113, 126～127, 134～135ページ</p> <p>118ページ</p> <p>118～120ページ</p> <p>139, 141ページ</p>
<p>第2部第4章 私たちの職業生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。(第1号) ・二つの「テーマ」の冒頭に「探究学習のプロセス」にそって構成した「追究しよう」を見開きで提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。(第1号・第2号) ・テーマ1「働くことの意義と職業選択」では、〈視点〉として「自己実現」「ワーク・ライフ・バランス」に着目し、職業選択をとおして自己実現や社会参画について考えることができるようにし、個人の価値を尊重してその価値を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことができるよう配慮した。(第2号) ・若者の雇用や労働環境など、職業生活にかかわる今日的な課題を取り上げ、職業および生活との関連を 	<p>全体</p> <p>146～147, 152～153ページ</p> <p>146～147ページ</p> <p>150, 156～157ページ</p>

	<p>重視し、勤労を重んじる態度を養うことができるよう配慮した。(第2号)</p> <ul style="list-style-type: none"> • これからのキャリア形成に関連し、自律的なキャリア形成が求められていることを取り上げ、自主および自律の精神が養えるよう配慮した。(第2号) 	151, 157ページ
第2部第5章 国際社会のなかで生きる 私たち	<ul style="list-style-type: none"> • 幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した。(第1号) • 四つの「テーマ」の冒頭に「探究学習のプロセス」にそって構成した「追究しよう」を見開きで提示し、自主的かつ意欲的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。(第1号・第2号) • テーマ3「国際平和への課題」では、〈視点〉として「保護する責任」「正義」に着目し、国際平和への課題をとらえることをとおして国際社会の役割について考えることができるようにし、正義と責任を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号) • 紛争や難民など、今日の国際社会が抱える課題や、国際社会において日本の果たすべき課題について取り上げ、国際社会の平和と発展に寄与することができるようにした。(第5号) • 特設ページ「アプローチ」で国境をこえて広がるNGOの活動を学ぶことを通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号) • 特設ページ「アプローチ」で「持続可能な開発目標(SDGs)」を取り上げ、今日の国際社会が共通に抱える課題について考えることができるようにした。(第5号) 	<p>全体</p> <p>158～159, 166～167, 174～175, 182～183ページ</p> <p>174～175ページ</p> <p>176～179ページ</p> <p>180～181ページ</p> <p>194～195ページ</p>
第3部 持続可能な社会づくりに参 画するために	<ul style="list-style-type: none"> • 公共の精神をもった自立した主体になることをめざし、解決に向けて取り組みが求められている現代の諸課題を探究することができるよう、探究活動の進め方を丁寧に解説し、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) • ミニレポートの例として気候変動を取り上げ、温暖化の問題を通して環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにした。(第4号) 	<p>197～207ページ</p> <p>211ページ</p>
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> • 「参考資料」では、日本国憲法について側注欄に簡明な用語解説を付したり、民法や刑法などの法律を豊富に取り上げたりすることで、本文での学習内容と関連して活用できるようにし、知識を確実に習得できるようにした。(第1号) 	213～233ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- コラムや特設ページを各所に設けるとともに、写真・図表・地図を豊富に掲載することで、生徒が意欲的に楽しく学べる教科書をめざした。
- ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させた。
- 地図やグラフなどではカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性などにかかわらず学習をすすめられるよう留意した。
- 再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-114	高等学校	公民科	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	公共 701	公共		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容の充実

- ・各項（「本文ページ」）の冒頭に学習課題（問い）を提示し、その問いを常に意識しながら見開きの学習を進められるようにした。
- ・各項の項末には、1単位時間の学習のまとめとして「まとめる」「説明する」などの活動を示した問いかけ「トライ」を設け、学習者が主体的に学習を広げられるようにした。
- ・教室の内外でできる学習活動「アクティブ公民」を適所に掲載した。また第1部では、複数の思考実験（「トロッコ問題」「臓器くじ」）を取り上げ、概念的な枠組みを用いて考察する活動ができるようにした。
- ・生徒の実態に応じて柔軟な扱いが可能な「特設ページ」を充実させ、深い学びの実現に向けて「公共」の学習に広がりをもてるようにした。「特設ページ」には、基本的な知識理解事項をまとめた「ゼミナール」、発展的な興味深いトピックを紹介した「アプローチ」、参加型の活動をとおして各テーマに関わる実践に取り組むことができる「フォーカス&アクション」、倫理的な観点から物事を選択・判断する際の基本的な考え方について具体的な課題をとおして学習することができる「活用」を掲載した。

(2) 現代の諸課題を追究したり解決したりする活動が展開できるよう工夫した紙面

- ・第1部「『公共』のとびら」では、現代の諸課題を考察し、選択・判断する際に活用できる〈視点〉（概念や考え方）を提示し、第2部・第3部の学習で活用できるようにした。
- ・第2部「自立した主体として社会に参画する私たち」は、5章・13テーマとし、各テーマは1見開きの「追究しよう」と複数の見開きの「本文ページ」で構成した。「追究しよう」は各テーマに関する具体的な課題を設定して、追究したり解決したりする活動のプロセス（「つかむ」→「考える」→「まとめる」という「探究学習のプロセス」）にそって学習を進められるようにし、「本文ページ」は各テーマで学習すべき知識理解事項を掲載した。
- ・第3部「持続可能な社会づくりに参画するために」は、第1部・第2部の学習をふまえて現代の諸課題を探究する活動ができるよう、「つかむ」→「考える」→「まとめる」→「ふり返る」という探究プロセスにそって紙面を構成した。

(3) 学習内容と学びやすさを考慮した構成・配列

- ・学習指導要領をふまえた3部構成とし、第1部で現代の諸課題を考察し、選択・判断する際に活用できる考え方や基本的原理を学び、第2部でテーマごとに現実社会の諸課題について知識を活用しながら追究し、第3部で現代の諸課題の解決方法を考え、論拠をもとに自分の考えを説明・論述することができるようにした。
- ・前見返しに中学校社会・公民的分野の教科書で取り上げた写真を掲載したり、第1部の「学習の進め方」にて中学校社会・公民的分野で学習した〈視点〉（「対立と合意」「効率と公正」）を取り上げたりすることで、中学校公民での既習事項を確認することができるようにした。
- ・第1部第3章「公共的な空間における基本的原理」から第2部への学習が円滑に進められるよう、第2部第1章に政治分野（「民主政治と私たち」）を位置づけた。
- ・第2部は、学習内容と学びやすさを考慮し、「政治→法→経済→職業生活→国際社会」の5章構成（13テーマ）とした。
- ・キャリア教育の充実について「公共」が中核的機能を担うことをふまえ、第2部に独立した章（第4章）として「私たちの職業生活」を設け、12ページを充当した。

(4) 特別支援教育に関わる適切な配慮

- ・資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させた。
- ・教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させた。
- ・色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図では、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1部 「公共」とのびら	A-(1) (2) (3)	7～54 ページ	13
第1章 公共的な空間をつくる私たち —社会のなかの自己	A-(1)	10～21 ページ	5
(1) 現代社会に生きる青年	A-(1)	10～13 ページ	
(2) 社会的な関係のなかで生きる人間	A-(1)	14～21 ページ	
第2章 公共的な空間における人間としての 在り方生き方—共に生きるための倫理	A-(2)	22～35ページ	4
第3章 公共的な空間における基本的原理 —私たちの民主的な社会	A-(3)	36～53ページ	4
第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	B	55～196 ページ	50
第1章 民主政治と私たち テーマ1 民主政治と政治参加	B-ア(イ)(エ), イ(ア) B-ア(イ)(エ), イ(ア)	58～83 ページ 58～83 ページ	8
第2章 法の働きと私たち テーマ1 法や規範の意義と役割 テーマ2 市民生活と私法 テーマ3 国民の司法参加	B-ア(ア)(エ), イ(ア) B-ア(ア)(エ), イ(ア) B-ア(ア)(エ), イ(ア) B-ア(ア)(エ), イ(ア)	84～111ページ 84～91ページ 92～101ページ 102～111ページ	10
第3章 経済社会で生きる私たち テーマ1 現代の経済と市場 テーマ2 市場経済における金融の働き テーマ3 財政の役割と持続可能な社会保障制度	B-ア(ウ)(エ), イ(ア) B-ア(ウ)(エ), イ(ア) B-ア(ウ)(エ), イ(ア) B-ア(ウ)(エ), イ(ア)	112～145ページ 112～125ページ 126～133ページ 134～145ページ	12
第4章 私たちの職業生活 テーマ1 働くことの意義と職業選択 テーマ2 労働者の権利と雇用・労働問題	B-ア(ウ)(エ), イ(ア) B-ア(ウ)(エ), イ(ア) B-ア(ウ)(エ), イ(ア)	146～157ページ 146～151ページ 152～157ページ	6
第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1 国際社会のルールとしくみ テーマ2 国際社会と平和主義 テーマ3 国際平和への課題 テーマ4 グローバル化する国際経済	B-ア(イ)(ウ)(エ), イ(ア) B-ア(イ)(エ), イ(ア) B-ア(イ)(エ), イ(ア) B-ア(イ)(エ), イ(ア) B-ア(ウ)(エ), イ(ア)	158～195ページ 158～165ページ 166～173ページ 174～181ページ 182～195ページ	14
第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	C	197～212 ページ	7
		計	70